

国土交通経済（平成14年4月・5月分）の概況

【公共工事受注（5月）】

～総じて低調に推移しているが、このところ平成13年度第2次補正予算の効果が現れる。

工事受注額は前年同月比2.0%増加(9ヶ月ぶり、4-5月累計は前年同期比1.4%減少)。大手50社受注額は同15.6%増加(3ヶ月ぶり、4-5月累計は同0.9%増加)。

【住宅建設（5月）】

～基調としては弱含み。

新設住宅着工戸数は、貸家・分譲住宅において大規模物件の着工が多かったことなどから総計106,110戸、前年同月比5.8%増加(3ヶ月ぶり)となった。

季節調整済み年率換算値は126万9千戸で、前月比11.3%増加(2ヶ月連続)。

【民間非住宅建設（5月）】

～基調としては減少している。

民間設備投資の先行指標である民間非居住用建築物着工床面積は、工場は減少したものの事務所・店舗・倉庫は増加したため、全体で前年同月比9.9%増加(4ヶ月ぶり)。

【貨物交通（4月・5月）】

(1) 国内輸送

～トラック、航空、鉄道いずれも減少している。

トラック(特積)は、4月前年同月比3.6%減少(16ヶ月連続)となったが、3月(同11.0%減少)に比べ減少幅は縮小した。トラック(一般)は、4月同3.5%減少(15ヶ月連続)となった。航空(速報:3社)は、5月同4.9%減少(16ヶ月連続)となったが、4月(同7.9%減少)に比べ減少幅は縮小した。鉄道は、5月同5.5%減少(10ヶ月連続)となった。

(2) 国際輸送

～航空は輸出が大幅に増加し、輸入も増加に転じた。

外国航空会社を含む航空貨物量(速報:成田・関空調べ)は、輸出が5月前年同月比22.4%増加となった(2ヶ月連続)。輸入は、5月同2.2%増加(12ヶ月ぶり)となった。我が国航空会社の輸送量(速報5社:輸出+輸入)は、5月同20.0%増加(3ヶ月連続)となった。

【旅客交通（4月・5月）】

～鉄道はおおむね横ばい、航空は国際、国内ともに減少。

鉄道は、JR6社が3月前年同月比0.9%増加の後、4月は同0.2%減少に転じた。民鉄は、3月同2.2%増加の後、4月は同0.3%減少に転じた。

国際航空(邦社)は、5月同5.8%減少(9ヶ月連続)となった。国内航空(速報:9社)は、5月同2.8%減少(2ヶ月連続)となった。

【観光（5月）】

～海外旅行の減少幅は縮小傾向が続き、国内旅行は減少している。

海外旅行は、取扱額(主要50社)が5月前年同月比6.5%減少(9ヶ月連続)となったが、4月(同9.9%減少)に比べ減少幅は縮小した。出国日本人数は、5月同6.1%減少(9ヶ月連続)となった。国内旅行は、取扱額(主要50社)が5月同3.0%減少(3ヶ月連続)となった。